

幼保小の切れ目ない支援に向けた 指導要録等の活用について

令和7年11月13日(木)
広島県教育委員会
幼児教育支援センター
指導主事 山口 洋平

小学校への引継ぎの手立て

●全ての子供を対象とするもの

- ・幼稚園幼児指導要録
- ・保育所児童保育要録
- ・幼保連携型認定こども園園児指導要録

●特別な支援が必要な幼児を対象とするもの

- ・個別の教育支援計画(教育)
- ・個別の支援計画(福祉)

●自治体が独自に活用しているもの

- ・就学支援シート

要録とは

指導要録は、幼児の学籍並びに指導の過程及びその結果の要約を記録し、その後の指導及び外部に対する証明等に役立たせるための原簿となるものです。

「幼稚園及び特別支援学校幼稚部における指導要録の改善について(通知)」(文部科学省 平成30年3月30日)

幼保連携型認定こども園園児指導要録は、園児の学籍並びに指導の過程及びその結果の要約を記録し、その後の指導及び外部に対する証明等に役立たせるための原簿となるものです。

「幼保連携型認定こども園園児指導要録の改善及び認定こども園こども要録の作成等に関する留意事項等について(通知)」(内閣府・文部科学省・厚生労働省 平成30年3月30日)

要録とは

保育士等が、自らの保育実践の過程を振り返り、子どもの心の育ち、意欲等について理解を深め、専門性の向上及び保育実践の改善に努めることが求められる。また、その内容が小学校に適切に引き継がれ、保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえて小学校教育が円滑に行われるよう、保育所と小学校との間で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど、小学校との連携を図ることが重要である。

このような認識の下、**保育所と小学校との連携を確保するという観点から、保育所から小学校に子どもの育ちを支えるための資料**として、従前より保育所児童保育要録が送付されるよう求めている

要録の参考様式の改善

幼稚園

幼稚園幼児指導要録（最終学年の指導に関する記録）

氏名	平成 年 月 日生	性別	指導の重点等	平成 年度	
				(学年の重点)	
ねらい (発達を促せる視点)			指導の重点等	(個人の重点)	
健康	明るく健やかな行動し、充実感を味わう。				
健康	自分の体を十分に鍛え、達意で運動しようとする。				
健康	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、反復しちて行動する。				
人間関係	幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。				
人間関係	友達と人と親しみ、関わりを深め、互にしたり、協力したりして一緒に活動する楽しさを知り、愛情や信頼感をもつ。				
人間関係	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。				
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。				
環境	身近な環境には自分から関わり、発見を養いながら、考えたりし、それを生活に役立てようとする。				
環境	身近な事象を見たり、考えたり、触ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を養う。				
表現	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを知り。				
表現	人の言葉や図などよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを知り。				
表現	生活に必要な言葉のかけがえ、よくなることともに、絵や物語などに関し、言葉に対する感覚を養い、先生や友達とよく話し。				
表現	いろいろなものの美しさなどに对する豊かな感覚をもつ。				
表現	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。				
表現	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。				
出欠状況	年度	備考			
出席回数	出席回数				
出席回数	出席回数				

幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿

「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」は、幼稚園教育要領第5章に示すねらい及び内容に基づいて、各幼稚園で、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼稚園教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られるようになる姿である。「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」は、とりわけ幼児の自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特徴に応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての幼児に同じように見られるものではないことに留意すること。

健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に動かす。見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを察し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かれ、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに気づいたりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちと調整し、友達と折衝し合いながら、きまりをつくり、守ったりするようになる。
社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもちとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、関心に関わり、遊びや生活に必要な習慣を取り入れ、習慣に基づき行動したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
自然との関わり・生命尊重	身近な自然に積極的に関わる中で、動植物や生きものなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにすることができるようになる。
数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、数量や図形、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの思いや感覚に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
言葉による伝え合い	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、数量や図形、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの思いや感覚に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の種類や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、表現をもつようになる。

保育所

保育所児童保育要録（保育に関する記録）

本資料は、保育所において保育所と小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）が子どもに関する情報を共有

「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」(10の姿)が明記

ねらい (発達を促える視点)		保育の展開と子どもの育ち
健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。	
人間関係	健康、安全な生活に必要な言葉や態度を身に付け、足踏しをもって行動する。	
	保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。	
人間関係	身近な人と遊び、関わりを深め、正しくしたり、協力したりして一緒に活動する楽しさを感じる。愛情や信頼感をもつ。	

「養護」と「教育」に関する 記載欄の統合

言葉	文字などに対する感覚を養う。	表 現
	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを感じる。	
	人の言葉や態度をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを感じる。	
	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。	
	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。	
表 現	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	(特に配慮すべき事項)
生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		

「養護」と「教育」に関する記載欄の統合

最終年度に至るまでの育ちに関する事項

幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿

各項目の内容等については、別紙に示す「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿について」を参照すること。

健康な心と体
自立心
協同性
道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり
思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重
数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

要録記入のポイント

幼稚園幼児指導要録（最終学年の指導に関する記録）

[illegible]

①学年の重点

その年度のはじめに指導計画として立てたクラスの目標を記入します。

②個人の重点

1年間を振り返って、当該
幼児の指導について特に重
視してきた点を記入します。
初めから定めるものではな
く、記録を読み返し、その子
供とのかかわりで大切にし
てきたことを書くようにしま
す。

要録記入のポイント

幼稚園幼児指導要録（最終学年の指導に関する記録）

氏名		平成 年度	幼稚園の終わりにまで育ってほしい姿
性別		(学年の重点)	
ねらい		(個人の重点)	
(発達を促せる視点)			
健康	健康な心と体	健康な心と体	健康な心と体
健康	自立心	自立心	自立心
健康	協調性	協調性	協調性
人間関係	社会生活	社会生活	社会生活
環境	自然との関わり・生命尊重	自然との関わり・生命尊重	自然との関わり・生命尊重
表現	表現	表現	表現
思考	思考	思考	思考
その他	その他	その他	その他
年度	年度	年度	年度
出欠状況	出欠状況	出欠状況	出欠状況
備考	備考	備考	備考

③

③指導上参考となる事項

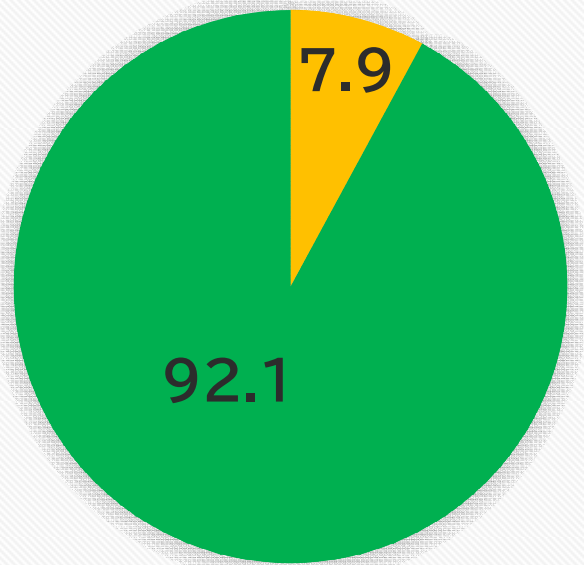
各領域のねらいを視点として、当該幼児の発達の実情から向上が著しいと思われるものを記入します。

その子供が夢中になって取り組んだ主たる活動(遊び)で経験したことを5領域の内容の視点で捉えたうえで、その子供に育ちつつある姿を書くことが大切です。

次の年度の指導に活かせるよう、その子供の育ちを支えるために必要と考えられる配慮事項も記入します。

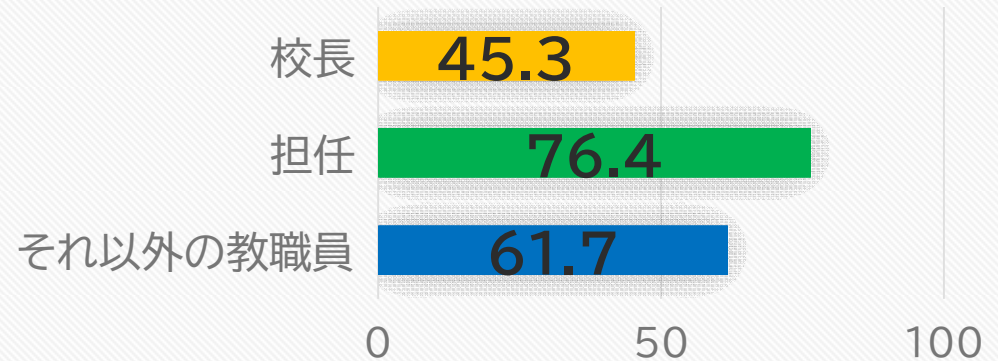
要録の活用状況

要録を参考にして
いますか

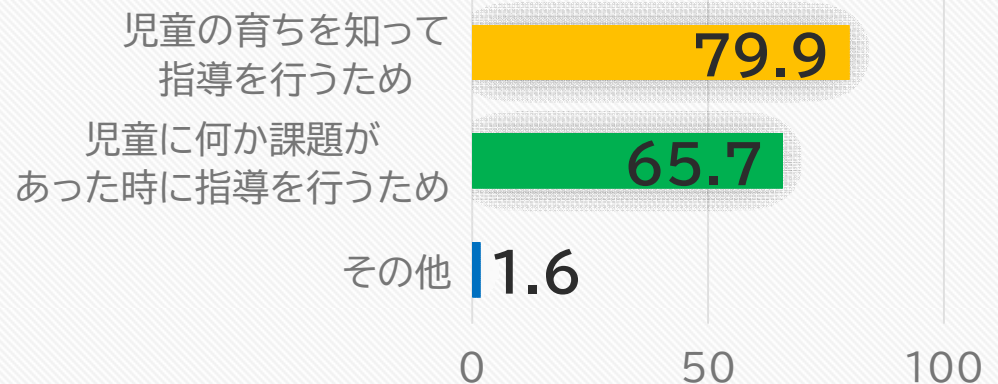


- 特に参考になっている
- 参考になっている

取扱者



参考内容



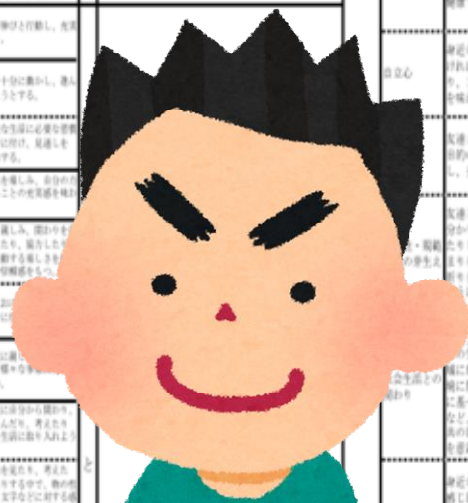
演習

内容

架空の子供の要録記載例を基に、A児の育ちを読み取るとともに、小学校生活におけるA児の1年生担任の困り感に対する支援方法を考える。

手順

- ①A児の育ちを読み取る。(個人作業)
【5分】
- ②A児の見立てを交流する。(グループ協議)
【15分】
- ③〔追加情報の提示:A児の担任の困り感〕
【2分】
- ④A児への支援方法を考える。(グループ協議)
【15分】
- ⑤協議内容を共有する。(全体協議)
【10分】



A鬼